

CHECK LIST

EAP導入 完全チェックリスト

目的設定 → サービス選定 → 導入後運用 の全ステップを網羅

このチェックリストの使い方

STEP1〜STEP3まで、EAPを機能させるために企業が確認すべき項目を一覧化しています。

各ステップのチェックを入れながら進めることで、**導入目的・選定・運用の抜け漏れを防ぎ、投資対効果を最大化**できます。印刷して会議・ヒアリング資料としてご活用ください。

fiore（フィオーレ）

中小企業のメンタルヘルス・職場環境改善支援 / 公認心理師監修 <https://fiore.works>

STEP 1

導入目的の明確化と自社課題の洗い出し

「なぜEAPが必要か」を言語化できないと、サービス選定もKPI設定もぶれます。まず経営・人事・現場の課題を揃えましょう。

① 目的の設定

- ☐ 離職率を下げたい（例：3年以内離職率を○%以下に）
- ☐ メンタル休職者を減らしたい（例：年間休職者数を半減）
- ☐ ハラスメントの潜在化を防ぎたい
- ☐ 管理職の負荷軽減・ラインケア強化を進めたい
- ☐ 健康経営／採用ブランディングに活用したい

② 現状把握

- ☐ ストレスチェック結果を分析している
- ☐ 離職率・休職率・勤怠データを過去3年分把握している
- ☐ 相談窓口の現状と課題を整理している（相談0件も課題）
- ☐ 現場管理職の負担・困りごとをヒアリングしている

③ KPI設定

- ☐ EAP利用率（従業員比）の目標値
- ☐ 休職者数／離職率の目標値
- ☐ ストレスチェック 高ストレス者割合の目標値
- ☐ 効果測定の時期（半年後／1年後）を決めている

POINT：目的が複数ある場合も、最優先1〜2つを明確に。すべてを一度に狙うとKPIがぼやけます。

STEP 2 EAPサービス選定・4つの比較ポイント（16項目）

複数のEAPサービスをヒアリングするときに、同じ基準で評価するためのシートです。各社のクリア数を比較できます。

① サービス範囲と専門家の質

- ☐ ハラスメント／うつ／発達障害など自社課題を幅広くカバー
- ☐ 医師・公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士など有資格者が在籍
- ☐ 介護・育児・海外赴任など生活課題にも対応
- ☐ 同業種・同規模の導入実績がある

② 相談チャネルの多様性と対応時間

- ☐ 電話／メール／チャット／オンライン／対面など複数チャネル
- ☐ スマホで完結する相談手段がある
- ☐ 夜間・土日の対応が可能
- ☐ 多拠点・交替勤務の従業員にも使いやすい設計

③ セキュリティ体制とプライバシー保護

- ☐ 個人情報保護の体制が委託契約で明文化されている
- ☐ ISO27001 または プライバシーマークを取得している
- ☐ 定期的な監査体制がある
- ☐ 「本人同意なく会社に知られない」と明示されている

④ 費用（料金体系）と導入実績

- ☐ 従業員1人あたりの月額（相場 300～500円）が妥当
- ☐ 初期設定費用・オプション料金が明示されている
- ☐ 想定利用率でトータルコストを試算できる
- ☐ 同業種・同規模の導入実績が示されている

目安：16項目中12個以上（約75％）クリアするEAPサービスが安心。クリア数が少ない項目は、担当者に追加ヒアリングを確認を。

STEP 3

導入後の運用・周知・効果測定

契約しただけでは形骸化します。「使われるEAP」にするための運用チェックリストです。

① 社内周知

- ☐ 経営層からEAP導入のメッセージを発信した
- ☐ 社内イントラ／ポスター／カードで窓口を周知している
- ☐ 「評価に影響しない」「秘密は守られる」と明記している
- ☐ 家族も相談対象であることを伝えている
- ☐ 利用は本人の自由意思であることを強調している

② 利用促進・現場浸透

- ☐ 管理職向けにラインケア研修を実施している
- ☐ 新入社員オリエンでEAP案内を含めている
- ☐ 定期（半年～1年毎）に全社員へ再告知している
- ☐ 相談窓口カード・名刺サイズ案内を全員に配布している

③ 効果測定・改善（PDCA）

- ☐ 利用件数・利用率を月次／四半期で把握している
- ☐ ストレスチェック結果の変化を追跡している
- ☐ 離職率・休職率・勤怠推移をEAP前後で比較している
- ☐ 経営層へ定期報告（半年／1年）を実施している
- ☐ 目標未達の項目は施策を見直している

④ 継続的な運用強化

- ☐ 毎年の契約更新時にサービス内容を見直している
- ☐ 他社事例・新サービスをウォッチしている
- ☐ EAP提供元と定期的な連絡会を設けている
- ☐ 社内の相談文化が醸成されているか振り返っている

POINT：導入初年度の目標は「利用率10%」が一つの目安。利用率が極端に低い場合は周知不足を疑い、再アナウンス・研修で底上げを。

無料相談のご案内

公認心理師・精神科医による無料オンライン相談（15分）

このチェックリストで「空欄が多い」「進め方が分からない」と感じたら、まずは無料でご相談ください。

fioreの公認心理師が、貴社の規模・業種に合わせた最適なアプローチを個別にご提案します。

予約URL : <https://calendar.app.google/i8v4duEbhiQZ2TVcA>

fiore（フィオーレ）

中小企業のメンタルヘルス・職場環境改善支援 / 公認心理師監修

<https://fiore.works>